

**コメント**

第1週は、定点医療機関の年末年始休診の影響のため、全般に報告数が少なくなっています。このことを考慮して、各疾患の増減の評価及び「5類感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

なお、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症は、多い状態が続いていると考えられます。

特に感染性胃腸炎は、年末年始の医療機関の休診が多かったにもかかわらず、報告数はそれほど低下していないことから、かなり流行していると考えられますので注意が必要です。

**5類感染症報告状況(定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	70	1.89	3.72		ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.22		流行性耳下腺炎	1	0.04	1.02	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	0.67		RSウイルス感染症	2	0.08	0.51	
感染性胃腸炎	198	8.25	9.05		急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	36	1.50	2.24		流行性角結膜炎	3	0.38	0.73	
手足口病	4	0.17	0.08		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.07		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	5	0.21	0.44		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.17	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減			前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減			前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減			前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)  
 (注2) 鳥インフルエンザを除く  
 (注3) オウム病を除く

**1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)**

報告はありません。

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
			(注1)																		
報告数	広島市	第49週	236	18	36	453	53	12	1	14	-	-	1	18	-	4	-	2	3	-	-
		第50週	448	21	26	460	73	9	1	18	1	-	2	16	-	2	-	-	2	-	-
		第51週	522	26	31	491	64	15	1	27	1	-	3	56	-	4	1	-	6	-	-
		第52週	348	11	20	377	68	11	4	17	1	-	1	44	-	2	-	-	3	-	-
		第1週	70	4	4	198	36	4	1	5	-	-	-	1	2	-	3	-	-	3	-
定点当り	広島市	第49週	6.38	0.75	1.50	18.88	2.21	0.50	0.04	0.58	-	-	0.04	0.75	-	0.50	-	0.29	0.43	-	-
		第50週	12.11	0.88	1.08	19.17	3.04	0.38	0.04	0.75	0.04	-	0.08	0.67	-	0.25	-	-	0.29	-	-
		第51週	14.11	1.08	1.29	20.46	2.67	0.63	0.04	1.13	0.04	-	0.13	2.33	-	0.50	0.14	-	0.86	-	-
		第52週	9.41	0.46	0.83	15.71	2.83	0.46	0.17	0.71	0.04	-	0.04	1.83	-	0.25	-	-	0.43	-	-
		第1週	1.89	0.17	0.17	8.25	1.50	0.17	0.04	0.21	-	-	-	0.04	0.08	-	0.38	-	-	0.43	-
全国	第51週	0.94	0.18	1.50	7.32	1.18	0.48	0.15	0.63	0.03	0.12	0.30	0.39	0.02	0.64	0.02	0.02	0.36	0.03	-	
	第52週	1.53	0.19	1.51	8.97	1.28	0.42	0.13	0.61	0.03	0.09	0.28	0.47	0.02	0.56	0.02	0.02	0.36	0.03	-	

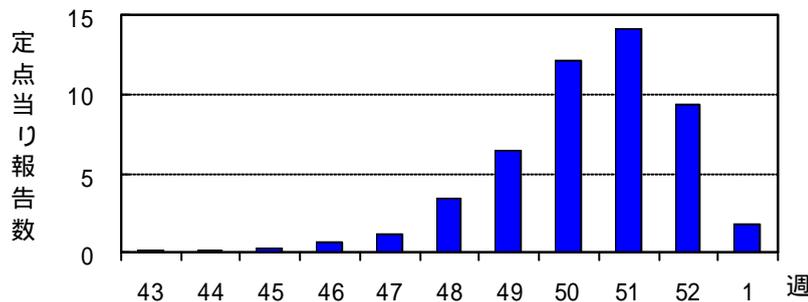
(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

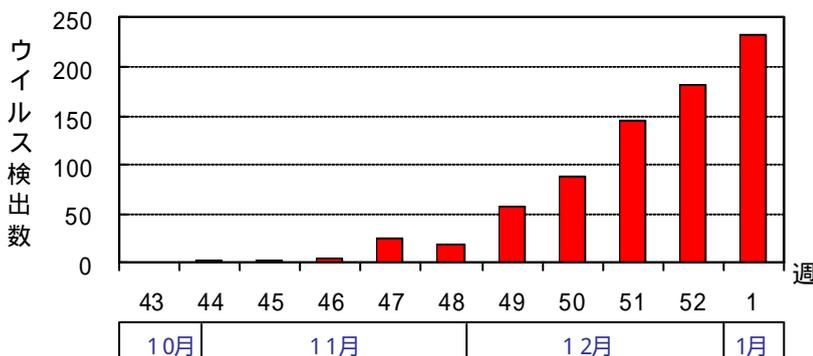
新たな検査結果はありません。

## 【参考】インフルエンザの定点当り報告数と迅速診断検査結果との比較

インフルエンザ定点からの患者報告数



基幹定点における迅速診断キットによるウイルス検出数



インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告は、流行が始まってから増加を続けていましたが、学校が冬休みに入った第52週は減少しました。年末から年始にかけての第1週は、医療機関の休診が多かったため、報告数は急減しています。

しかし、基幹定点(2か所)からの迅速診断キットによるウイルス検出数は、この期間も増加しています。

これは、この期間も診療を行っていたため、患者が集中したためと考えられますが、このことを考慮しても、インフルエンザは多い状態が継続していると考えられ、学校が始まった第2週以降の動向に注意が必要です。

なお、今シーズンこれまでに迅速診断キットによる検出数の型別内訳は、A型陽性が751人、B型陽性が6人とほとんどがA型陽性です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.jp)

2008年第1週(12月31日~1月6日)